

日本表面科学会 第3回関東支部講演大会

主催：日本表面科学会 関東支部

日時：2018年4月7日(土)10時～18時30分（交流会：18時30分～）

会場：東京工業大学(大岡山) 西9号館 デジタル多目的ホール

プログラム:

- 10:00 招待講演1「エピタキシャル成長によるものづくりとその評価技術」
長谷川 哲也（東京大学）
- 10:30 招待講演2「原子間力顕微鏡による高分子ナノメカニクスの現状と展望」
中嶋 健（東京工業大学）
- 11:00 企画講演1「ナローギャップ化合物半導体デバイス開発支援のための解析技術」
山内 武志（旭化成）
- 11:20 企画講演2「電子線照射によるコンタミ付着とその抑制技術」
田中 裕二（JFE スチール）
- 11:40 企画講演3「リチウムイオン電池の劣化機構解析技術」
坪田 隆之（コベルコ科研）
- 12:00 関東支部総会、昼休み
- 13:30 ポスター発表：西9号館 メディアホール
- 15:00 招待講演3「光触媒シートを用いる水分解の現状と展望」
堂免 一成（東京大学）
- 16:00 招待講演4「時間分解STMが拓く世界—現状と可能性を探る—」
重川 秀実（筑波大学）
- 16:30 招待講演5「テラヘルツパルスによる超高速電子トンネリング制御とイメージング応用」
片山 郁文（横浜国立大学）
- 17:00 招待講演6「原子間力顕微鏡を用いた超高分解能分子イメージングの現状」
川井 茂樹（物質・材料研究機構）
- 17:30 招待講演7「STMとAFMを同時に用いた原子スイッチの競合」
山崎 詩郎（東京工業大学）
- 18:00 招待講演8「熱電変換材料としてのナノカーボン」
山本 貴博（東京理科大学）
- 18:30 交流会：西9号館 コラボレーションルーム